



元気っ子

No.281 ながさわ保育園

園長 中瀬 弦 偉

新年あけましておめでとうございます。

年度の終わりまではあと三ヶ月ありますが、新年を迎え、気持ち新たにまたしっかりと気持ちを入れ直して、保育に、子どもたちに向き合っていきたいと思います。

12月は無観客ではありましたが、お遊戯会を無事に開催することができました。「無観客」という判断については厳しいご意見も頂きましたが、やむを得ない判断だったことをどうぞご理解下さい。鈴鹿市においては現在、急激に感染者数が伸びているというものではありませんが、全国的に見れば第3波はこれまでにないくらい大きな波になっています。鈴鹿市が特段、他の地域とは違った感染対策をとっているわけではない以上、少々乱暴な言い方ではありますが、「たまたま偶然」感染が広がっていないだけだと言えますと思います。ウイルスは感染しても、感染させてもいけません。今後もより一層の感染予防を徹底していかなくてはならないと思います。

さて、お遊戯会ですが、子どもたちにとってみれば、慣れ親しんだ園舎の中での開催であったことで、とてもリラックスした、日常の保育の姿に近い自然な様子で本番の撮影に臨めたように感じます。また会場が狭いため、カメラと子どもたちとの距離も近く、ちょっとした表情の変化なども細かく見て取れるかと思えます。是非、その辺りにも注目して頂きながら、子どもたちの心の動きを想像しつつ、DVDをご覧いただけたらと思います。DVDの完成までには少しお時間を頂きますが、撮影チームのサンアリックスさんも例年以上に総力をあげて取り組んで下さいました。また舞台監督の矢田さん、歌唱指導の辻先生にも多大なるお力添えを頂きました。関係各位にこの場を借りて御礼を申し上げます。ありがとうございました。DVDがお手元に届きましたら、どうぞ特別な時間として、一家団欒、お子さんとご一緒にお楽しみ頂きたいと思います。(特典映像もお楽しみに！)

思い返せば2020年は色々な場面においてコロナウイルス感染症に振り回された一年でした。色々なことが「今まで通り」にいかなくなり、新しい方法を模索しなくてはならなくなりました。そんな時、最も大切にしなければいけないのは、そのものがもつ「本質」や「意味」です。どのような方法ならリスクを最小限に留めながら、大切にしなければいけない本質や意味を失わずに実現できるのかを知恵を絞って考えることです。2021年はそういう意味でひとつのターニングポイントになるでしょう。コロナ禍においてであっても、「本質」として大切にしなければいけない、「子どもの発達をきちんと保障できる環境を用意し続ける」ということを常に念頭に保育にあたって参ります。

どうぞ皆様、今年も一年間宜しくお願い致します。

